



市章

広報えびな

発行・海老名市役所・海老名市国分155/編集・秘書広報課/電話・31-2111(代)/〒243-04

世帯と人口

昭和60年9月1日現在
世帯 29,144世帯(+109)
人口 93,140人(+246)
男 47,933人 女 45,207人

毎月1日・15日発行

人気の「おはなし会」



よいこのへや おはなし会

毎週水曜日午後3時10分から30分間。対象は3歳から小学3年まで。内容は素話(すばなし=語り)、絵本、紙芝居、手品。申し込みは必要なく、当日直接に会場へ。参加

すると、リンゴを10個持った熊の絵を書いた出席カードが渡されます。1回出席するとリンゴのところにとつスタンプが押され、10回出席すると、手作りのお楽しみプレゼントがもらえます。



小川一雄さん

車イス利用者の小川一雄さん(大谷・61歳)は、「車イスでもほとんどの本に手が届くし届かない所は、係の人にいわせてくれます。本がきれいで利用しやすいですね。いま文学物の本をよく借りて読んでいますが、高齢者向けの大字本は読むのに疲れます。」

車イスでも利用しやすい

図書館を利用して

旅行計画も立てられる

手作り絵本の会の木村啓子さん(国分寺台五丁目・45歳)は、「絵本作りの資料調べなどに多に利用しています。二階参考図書室で調べものをするときに、職員の方が親切に教えてくださいましたので助かります。時刻表も置いてあるので、旅行計画を立てるのにも便利なんです。」



木村啓子さん

読書の秋



芸術の秋、スポーツの秋。何をするにも一番適した季節を迎えました。本号では読書の秋にちなみ、今年四月に開館した新図書館で、小さな子供たちに人気のある「よいこのへや おはなし会」と開館半年後の状況を紹介しましょう。

3地区でも

おはなし会は、また本を十分に読めない子供たちに、語りをよって物語の楽しさを知ってもらい、そして本を好きになってもらおうというものです。図書館の案内で

開館半年で7万人の来場

楽しいな図書館

この確しを知ったというお母さん「最初はが動めたのですが、二回目からはすすんで参加するようになりました。それに、子供が参加している間に私も本を読んだり借りたり出来るので、ほんとに毎週来たいです」と好評です。語り手は、社会教育指導員を中

心に行っています。指導員は「内容は時季に合ったものを選んでいきます。子供たちが毎回来てくれるのは嬉しみます。一生懸命お話をしますのでもなさん来てくださいな」と話しています。図書館では、地域でもお母さん方が「おはなし会」を開いてくださるようになっています。この呼び掛けに応じて、東柏ケ谷と大谷、柏ケ谷の三か所に「おはなし会」が出来ています。他所の地区でも「おはなし会」を開きたいという希望があれば図書館にご相談ください。指導員の派遣や絵本、紙芝居の貸し出しなどのお手伝いをします。

蔵書11万冊
九月十四日現在で登録数は市人口の約六分の一の一万六千四百七人。いままでに延べ七万四千人の利用があり、延べ七万四千冊の本が貸し出されています。一日平均では五百三十人の利用者、千二百冊の貸し出しです。登録数は、開館当初が九万七千冊、現在十万三千冊あり、今年度あと九千五百冊購入予定です。蔵書計画では、六十五年度までに市民一人当たり一・五冊、総数十七万冊にする予定です。

図書館は…

上郷474-4 ☎31-5152
開館時間は、9:00-16:50
(水木金は18:50まで延長、ただし中学生以下はいずれも16:30まで)
休館日は月曜日、祝日、月末、年末年始

借りるには

初めての人は、登録が必要ですが、手続きは簡単。自分の住所を証明できるもの、自動車免許証などを持っていき、手続完了すれば、すぐに登録証を発行してくれます。登録できる人は市内在住・在勤・在学の方、一回に三冊まで借りられて、貸し出し期間は二週間、本は目録カードやコンピュータで探すことができます。

スポーツ一家の主婦

海老名ビューティーナインズの世話役を務める

二宮なつ子さん



ねんざした足を引きずって練習に...



「私たちのチームはフットボールが好きで、今更には海老名ビューティーナインズに加入して、海老名ビューティーナインズで活躍したいと思っています。」と語る二宮なつ子さんは、海老名ビューティーナインズの世話役を務める二宮なつ子さん。同チームは九月に開



完成した羅漢と坂井さん(桂岩寺本堂で撮影)

市民の顔モデルに 坂井さん(東柏ヶ谷)が五百羅漢を製作

「市民シーク」の名で親しまれている市民シークショー大会が、今年も十月十日の「体育の日」を中心とした百回を以て行われようとしている。市民シークは、地域のみなさんがスポーツやゲームを通して、親睦を深めるため、各地自治会が中心となって行っているもので、この会場もそれぞれに主を凝らした催しが行われています。あなたもぜひ、ご参加ください。

「市民シーク」の名で親しまれている市民シークショー大会が、今年も十月十日の「体育の日」を中心とした百回を以て行われようとしている。市民シークは、地域のみなさんがスポーツやゲームを通して、親睦を深めるため、各地自治会が中心となって行っているもので、この会場もそれぞれに主を凝らした催しが行われています。あなたもぜひ、ご参加ください。

井上近次氏(元町長)の逝去 四月から三十年七月まで海老名町町長を務められた、町発展と地方自治の発展に多大な貢献をされた井上近次氏(元町長)が、九月二十五日午後十時四十分、肺炎のため、厚木市中野町厚木病院で逝去されました。享年九十歳。

井上近次氏(元町長)の逝去 四月から三十年七月まで海老名町町長を務められた、町発展と地方自治の発展に多大な貢献をされた井上近次氏(元町長)が、九月二十五日午後十時四十分、肺炎のため、厚木市中野町厚木病院で逝去されました。享年九十歳。

横山征さん(大谷)が銀賞 ふるさとまつり写真コンクール



横山征さんの作品

夫婦で入賞 八月十日、小田急ランドで行われた「第十回ふるさとまつり写真コンクール」が、大谷の横山征さん(八歳)と、母の横山征子さん(三十七歳)の作品が銀賞に入賞した。今年のもとは、天候に恵まれず、十一日中止、十日も断続的に雨が降り続いた悪条件が重なったため、例年よりも応募者が少なく、作品数は三十七点に留まりました。審査会は九月五日、市役所で開

市民レク 10会場で

Table with 5 columns: 会場, 期日, 予備日, 対象地区. Lists 10 locations for 'Citizen Leisure' activities.

巡回連絡にご協力を

巡回連絡とは、派出所の警察官が受持区域の各家のみなさんとふれあいを密に、地域一帯を犯罪や事故から守っていくためのものです。

「サッカー」少年スポーツ教室

十一月十日(日)午前九時から大谷小学校、雨天時は同体育館、海老名市内の小学三、六年生百二十人先着順、サッカーボール(雨天時は体育館シューズも持参。申し込みは体育課(内5)へ。

さわやかテレホン ☎33-1212 1週ごとに新しい情報を 9/30~10/6は、体育施設紹介 10/7~13は、運動サークルあれこれ 10/14~20は、文化施設紹介

市長随想 思い出の秋

「秋」といって、運動会、読書、秋祭りを連想します。厳しかった残暑も、ようやく秋の気配を感じます。

思い出の秋 「秋」といって、運動会、読書、秋祭りを連想します。厳しかった残暑も、ようやく秋の気配を感じます。

市役所から 高齢者の職能講習会 本の手入れ、ふすまや障子のほうり方。①植木の手入れは10月18日。②障子のほうりは10月18日。③障子のほうりは10月18日。

催しもの 高齢者に親しむついでに、10月20日、各日午前10時~午後3時、県庁試験場(本館三階)で、56内容(牛乳のふれあい、ミニ動物園、牛乳のしぼり方、卵・野菜の頭取など)の無料配布ほか、入場自由。

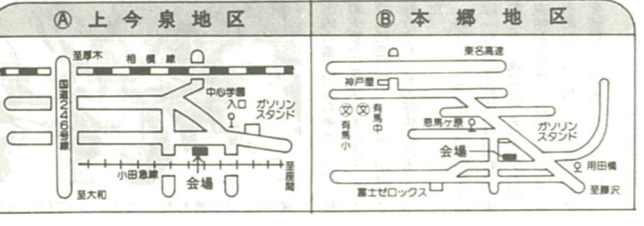
調査票の記入はお済みですか

10月7日までに調査員が回収に向います。

国勢調査

調査票の記入はお済みですか 10月7日までに調査員が回収に向います。

国勢調査



市役所 〒243-04 海老名市国分155 ☎31-2111 (代)

Advertisement for national census (国勢調査) with illustrations of people and text about survey completion.

情報は秘書広報課へ

Advertisement for fire prevention (消防) with text about drills and safety measures.

情報は秘書広報課へ

Advertisement for a city office (市役所) with text about various services and contact information.

市役所 〒243-04 海老名市国分155 ☎31-2111 (代)

Advertisement for a national fire prevention movement (全国防犯運動) with dates and details.



文化講演会

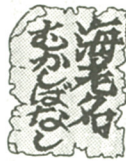
入場無料

講師 作家 渡辺淳一氏

さまざまな才能

とき・ところ=10月26日(土)午後2時~3時半、市文化会館/定員=1,100人/申し込み=電話かハガキで市立中央公民館(上郷476-2 ☎32・3231)

稲作りは水がなければできないが、その水きれいな水でなければよい米はとれないので、稲作農民にとって水源の確保は昔から死活問題であった。



鳥であったともいわれているが、慶應を北へ北へ運いて、磯部村勝坂という集落を消した。そこには洞窟(うへつ)があり、清水(せいすい)が流々(こころ)とわき出ていた(て)を有鹿谷と名づけ、有鹿野五か村の水源地とされた。

必要な時期の、水田地区の水利権の確保を、古くから権威ある有鹿神社の神霊に託したものである。



ろくして家へはいもどがでなかつたそぞろである。その時は大雨降(あふり)神社の神主にお祈りの祝詞のりんと

えなかつたというから、一種の幻覚だったのかも知れない。有鹿神社については、これに似た話(が)他にもいくつかある。

訂正 前号の写真説明で上るのは、井上茂雄氏の誤りでした。訂正しておわびします。

海老名むかしむかし

☎33・3838

海老名の昔ばなしが電話で聞けます

高齢者を祝う

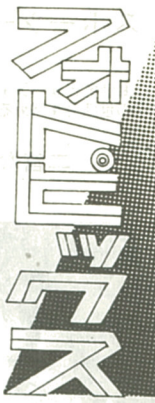
左藤市長が長寿者を訪問

九月五日、左藤市長は、市内の最高齢者の「見子ヨシさん(97歳・門沢橋)や二番目の長寿者、相原甲子郎さん(96歳・門沢橋)など、高齢者十四人を訪問し、長寿を祝った。



色紙をプレゼントする相原さん

長に今朝書いた色紙をプレゼント、の「色紙には「古希(70)の板(88)の茶屋(米屋(88)泊りて白寿(99)の板(子)一(画)家の川台基氏の言葉」と書かれて



食生活を見直す

和気あいの巡回料理教室

「千葉県の餅子は、なぜ長寿村なのか。それは、イワシなどの青ざかなを食べているから...」



笑いにつつまれた「つどい」の日だった

健康で来年も

「敬老のつどい」で再会を約束

ひしきを使った。ひしきの混ぜごはんや、イワシの若草あげ、などを料理研究家の水山和子氏の指導で取り組んだ。

敬老の日を前にした九月十三日、市文化会館で「敬老のつどい」が開かれ、七十五歳以上のおお寄りが九百人参加した。

家庭を考える

市母親クラブ大会でフォーラム

第十回海老名市母親クラブ大会が、九月十三日、市総合福祉会館で開かれ百三十人が参加した。



家庭のふれあいを演じる